

第23回日本再生医療学会総会 アフタヌーンセミナー / 企業展示会に 参加します。

会期：2024年3月21日(木)～3月23日(土)

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター、
ホテル日航新潟



併設展示会のご案内

ブース番号 B139

iPS細胞やオルガノイドの培養にお困りではないですか？
是非お立ち寄りください！

- ・ iPS細胞、患者由来細胞、スフェロイド、オルガノイドの細胞培養に興味関心がある方
- ・ 細胞培養プロセスの生産性向上、培地交換や継代にお困りの方
- ・ 未分化幹細胞の培養プロセス、分化過程において課題をお持ちの方

主なご案内内容

- ・ 自動細胞培養システム CellXpress.ai
- ・ ハイコンテンツイメージングシステム ImageXpress シリーズ
- ・ AI/機械学習搭載 IN Carta 画像解析ソフトウェア
- ・ ハイコンテンツイメージング / プレートリーダー 自動化ソリューション

共催学術セミナー 18 (アフタヌーン) / SES-18

Microphysiological system (MPS) の最前線と再生医療・創薬研究への応用

日時：3月22日(金) 15:40～16:30 (SES-18)

会場：第6会場(朱鷺メッセ 1F 展示ホール)

演題 1

オーガンオンチップの進化と再生医療への新たな展望

演者 江尻 洋子 MIMETAS Japan 株式会社

Organ-on-a-Chip 技術はマイクロ流体技術を用いて生体の反応を再現し、医薬品開発や動物実験の代替手段として期待されています。しかし、従来の技術は特殊な環境が必要でチップ数も限られた数であるため、その用途は前臨床試験に限定されていました。一方で、MIMETAS社のOrganoPlate®は規格化されたプラットフォームで多くのチップで構成されているため、前臨床試験のみならず、HTSスクリーニングにも利用できます。

本公演では複雑化する培養モデルとOrgan-on-a-Chipの再生医療への展望に焦点を当てて最近の知見を発表します。

演題 2

オルガノイド培養の自動化と3Dオルガノイドの
ハイコンテンツ解析

演者 中沢 太郎 モレキュラーデバイスジャパン株式会社

生体内の様々な組織を再現する3次元オルガノイドは、複雑な生物学的現象のモデル化に活用され始めています。一方で3次元モデルの複雑さゆえ、創薬スクリーニングへ幅広く活用するには、再現性の高い培養条件の確立やスループット性の面で課題があります。今回のセミナーでは、アッセイのセットアップ、メンテナンス、培養したオルガノイドの特性評価、ならびにさまざまな化合物の薬効評価を含む複雑なオルガノイドワークフローを自動化することができる統合システムについて紹介します。このシステムには、培養装置、分注機、イメージング装置に加え、スケジュール設定や画像解析のためのソフトウェアが含まれます。このシステムを用いたオルガノイドの培養とアッセイの自動化の実例を示し、また、3Dオルガノイドの表現型の変化と形態に関する情報を取得し解析する方法を提案します。

お問い合わせ

モレキュラーデバイスジャパン株式会社

Phone: 0120-993-656

Web: www.moleculardevices.co.jp

Email: info.japan@moldev.com